

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 3 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束廃止、虐待防止、権利擁護、プライバシー確保等の年間研修計画の作成が不十分である。	研修体制を整え、職員へ理解、知識の確保を行い、安心して生活していただける事業所運営を行う。	年間計画を作成し、計画的な研修を実施する。また、研修ごとの報告書作成を義務化とし、各職員の理解、意識付けの徹底を図る。	12ヶ月
2	8	成年後見制度への理解を職員、家族へ周知できていない。	制度の理解を得ることで、安心した生活が継続できる事を職員、家族へ理解してもらう。	成年後見制度を理解し易く作成されたパンフレット等を玄関先に配置するなどして、気軽に手に取り、周知できる環境を整える。	6ヶ月
3	35	災害時用の緊急連絡網が作成できていない。	通常時に加え、災害時緊急連絡網を作成する事で、緊急時の対応を迅速に行える体制を確保し、意識付けする。	災害時の連携方法を連絡網と併せて職員間へ周知する。また定期的な訓練を消防訓練時等で実践する。	6ヶ月
4	33	契約時における当法人の看取りへの方針を伝え、同意書ももらっているが、家族からの意向が書面化できていない。	入居時に伝え、事業所、家族双方が安心して生活できるよう、書面にて確認していく。	事業所のできる事、できない事を契約時に伝える書式を作成する。また、入居者、家族の意向も確認し、記録化していくようにする。	12ヶ月
5	49	普段外出しづらい遠方への外出支援が不十分である。	長年馴染んできた場所や地域へ出かけ、生活に張り合いが持てるような関わりを構築する。	入居者本人、家族、介護者から聞き取りを行い、具体化していくためのチームを作る。外出には事業所のみでなく家族、地域ボランティア等も参加してもらえるような働きかけの検討を行う。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。